

【舗装の出来形管理で測量機器を覗く河野さん。本当に現場が大好きなことが伝わってきました。仕事に興味にアクティブな方で、このマインドが元氣な職場づくりに繋がっているようです。】

「街を歩けば工事が気になる」

(河野 明日実 松浦建設(株) 入社約6年)

工事名：令和元年度日南地区舗装修繕外（その2）工事

【舗装の出来形管理の測量を実施中の河野さん】



【河野 明日実さんのプロフィール】
この現場での担当：現場代理人。
宮崎県立日南農業高等学校森林科学科（現宮崎県立日南振徳高等学校）を卒業後、宮崎県産業開発青年隊入隊し、先生の勧めで入社。現在までに、港湾、道路等幅広い工事に携わってきた。
趣味：三代目J Soul Brothers、EXILE、東方神起の大ファン。

●この仕事を何故、選んだ？

高校は農業系で先生から宮崎県産業開発青年隊を薦められたのがきっかけです。青年隊で2年間勉強してみても、思いの外、自分に合っていました。でも、飲食店や派遣会社等で仕事をしていましたが、当時、2級土木施工管理技士の勉強をしているのを青年隊の先生が知って、当社を紹介され入社しました。

●この仕事のやりがいは？

以前に実施した道路の新設工事が今も活用されていて、カーナビの更新でその道路が地図上に反映された時は感動しました。地元に貢献していることが実感できました。自分が施工した構造物が後世に残り、地域で役立っているという誇りを感じられます。

●現場での職場環境は？

今回、国土交通省の現場は初めてですが、トイレにクーラーが付いている「快適トイレ」初めてで、他の現場との格差を感じました。会社では年1回の社員旅行があります。私はよくコンサート休暇やディズニーランド休暇を取ります。アーティストのコンサート前後で4日間位を年3～4回休みます。当社の良いところは、事前申請しておけば、取得しやすいところです。当然、現場内で事前に調整して、責任を持ってやるべきことは終わらせて休んでいます。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業は受け皿が広いです。この人じゃないと出来ないといいことはありません。後からでも十分勉強は出来ます。自然環境に強い人が良いと思います。クーラーが好きな人は不向きかもしれませんね。着工前は、様々な図面等があり、それが現地が出来上がって行くという達成感他では味わえないでしょう。イメージ映像を具現化出来るのが一番の醍醐味です。

●現場で気をつけていること？

常に安全優先を肝に銘じています。いくら良い品質のものが出来ても事故を起こしては意味がありません。また、地域の方々への挨拶、コミュニケーションや清掃の徹底を心がけています。現場内の協力会社の方々とのコミュニケーションも当然です。



【和やかに協力会社の方と施工前に段取りの打ち合わせをする河野さん】

「お母さんは、 現場代理人！ 女性の視点で 明るく、楽しく」

(下村千帆：丸宮建設(株) 現場経験13年)

工事名：石山地区堤防補強工事

【延長で約1kmの
広い現場】

●建設業の未来について一言
イメージが先行する部分があると思いますが、物を作るという魅力的な仕事です。同じ現場は二つとないので、その楽しみはマンネリ化することがありません。県外に行く人もいますが、建設業は県内で就職しやすい仕事です。資格取得などで自分のステップアップにもなります。



【現場の案内看板にも女性技術者が従事していることをアピール】

【全員のヘルメットで女性技術者が従事していることをアピール】

●この仕事を何故、選んだ？

特段何かを造りたかったとかはありませんでした。女性らしい性格ではなく、女性が多い場所が好きではなかったため、女性の少ない高校の土木科を受験しました。卒業後に宮崎県産業開発青年隊に入隊し、その後、丸宮建設(株)に入社しました。3、4人目の双子の子供を産むときに4人の子供を抱えては、さすがに仕事は無理だと思い、退社しましたが、その後に事務職の仕事に就いたが物足りず、双子が小学校に入学する頃に、今の会社から復職の誘いがあり、戻りました。その時代は、建設業の管理者になるような女性の人材を雇っていませんでした。私は、土木の施工管理を行いたかったため、求人のない会社に飛び込みで行って、無理を言って雇ってもらいました。現社長及び今は亡き会長に感謝しています。

●この仕事のやりがいは？

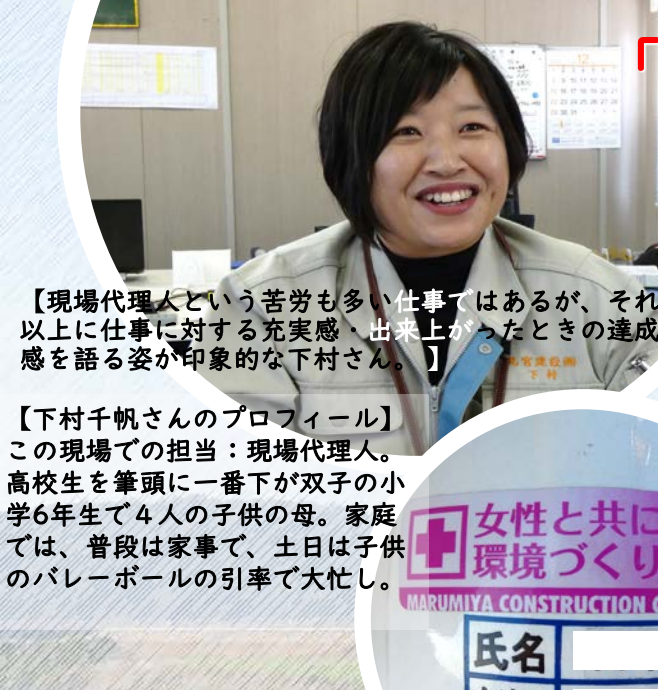
完成したときの達成感は強い。工期が1年近くあり、一気に進む仕事ではないため、出来上がり、完成検査が終わったその日の夕方の幸せな気持ちは言葉では言い表せない。また、協力業者の方々も含め、日々冗談が飛び交う雰囲気の仕事ができ、皆でまとまり助け合いながら、目標を達成するところにもやりがいを感じます。

●現場での職場環境は？

トイレは「快適トイレ」で男女別で離れて設置されています。女性は、そこで着替えも出来ます。現場事務所内も女性用の空間を仕切って設けていますので、着替えたり、昼寝も出来ます。また、女性ばかりの職場より、男性の多い職場の方が男性が優しく接してくれます。

【堤防の法勾配を確認し、バックホウのオペレーターへ確認の合図】

【法肩補強工の法線を確認する下村さん。インタビュー中、作業員の方から信頼されていることがよく伝わっていました。】



「建設現場って！ こんなところ。」

【コンクリートの
圧縮強度試験の立会い】

さかい きみ
(酒井希実：旭建設（株）入社約3年)

工事名：平成30年度伊比井地区災害復旧工事

【酒井希実さんのプロフィール】
この現場での担当：担当技術者。
短大 国際教養学科ホテル観光科
卒業。
スポーツ歴：中学＝バスケ、
高校＝ハンドボール。
趣味：旅行（知らない土地をブラ
ブラ歩く）。

【地域活動に参加し、国道
220号の景観維持に貢献】

【インタビュー中の素敵な横顔】

●建設業の未来について一言
建設業は、人があまり目にしない
ところで、道路復旧したり、災害復
旧したりしています。そんな縁の下
の力持ち的な存在で宮崎の力を見ら
れるというのが魅力だと思います。

●この仕事を何故、選んだ？
事務系よりは体を動かす仕事が向いていると思っていた。
宮崎県内の就職説明会で旭建設のブースで「宮崎のためになる」
仕事とか「地図に残る」仕事と言われたときに、カッコイイ仕事と
思い入社しました。

●この仕事のやりがいは？
橋や道を造る現場は、自分が携わった仕事が残っていくので、いつ
見ても達成感というか「やったな」と思えます。

●現場での職場環境は？
昔ながらの男業界のイメージがありましたが、最初に配属された現
場は、女性用トイレと更衣室を用意して下さいましたので、嫌なイ
メージはなかったです。その他に、この作業服のままの買い物は目立
つので、もう少し女性目線の作業服だとうれしい。就業時間は、き
っちり17時（定時）で終わることも多いので、友達と遊ぶ時間が多くて
嬉しいです。

【張コンクリートの厚さ確認】

【とても学生時代まで、土木を経験せずに
この世界に飛び込んできたと思えないくら
い堂々としていて、目がキラキラと楽しく
話をしてくれた酒井さん。完成した工事を
バックに素敵な笑顔】